



うまい・きれい かほく米づくりの運動では10の技術の実践を推進しています。確実に実践しましょう。

推進技術	目標	チェック
1~7	1. 播種量 (うす播きの励行) 2. 育苗日数 (健苗の育成) 3. 植付本数 (細植えの励行) 4. 栽植密度 (優良茎の確保) 5. 適正な施肥 (栄養凋落防止と登熟向上) 6. 田植え時期 (早植えの防止) 7. 中干し・溝切り	
8	除草・防除 (畦畔等除草とカメムシ防除の徹底)	・7月上旬までの追加除草 ・水稻の生育ステージにあわせた適期防除の実施
9	水管理 (飽水管理の徹底)	・中干し後から出穂までの約 1か月 (コシヒカリ) の飽水管理 ・出穂から刈取り直前までの 1か月以上 の飽水管理
10	刈取時期 (適期刈取りの励行)	・籾の黄化程度に応じた刈取り

水稻の生育はゆめみづほ、コシヒカリともに平年より2日程度早くなっています。
生育状況 (管内生育観測田平均、7月18日調査)

ゆめみづほ								
草丈 (cm)			茎数 (本/株)			茎数 (本/m ²)		
本年	前年	平年	本年	前年	平年	本年	前年	平年
86	82	84	26	28	30	496	515	503

コシヒカリ								
草丈 (cm)			茎数 (本/株)			茎数 (本/m ²)		
本年	前年	平年	本年	前年	平年	本年	前年	平年
87	84	85	17	21	23	336	405	421

- ◎ゆめみづほの出穂期は平坦部で7月18日頃、山間地帯で7月20日頃 (平年より2日早い)
- ◎コシヒカリの出穂期は平坦部で7月28日頃、山間地帯で7月30日頃 (平年より2日早い)

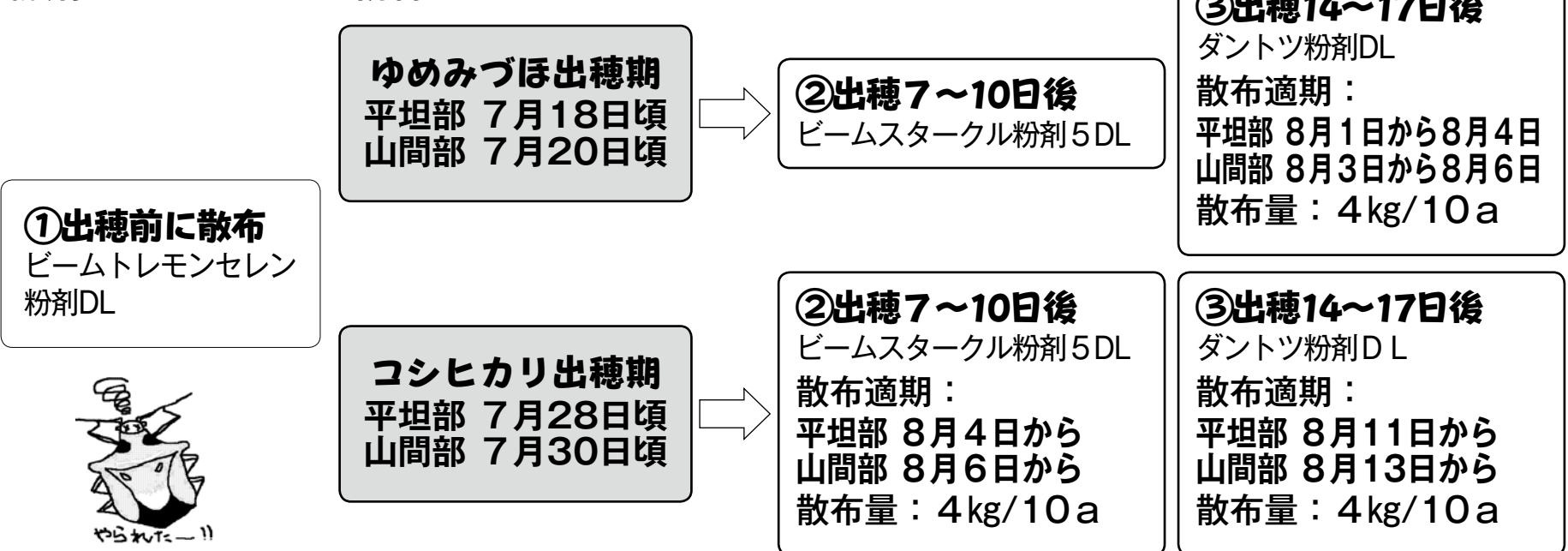
基幹防除を徹底し斑点米を追放しよう!!

石川かほく環境にやさしい農業のすすめ ~粒剤によるカメムシ防除~

飛散の少ない粒剤での省力散布をおすすめします。

- キラップ粒剤** カメムシ類、ウンカ類
散布適期：出穂直後~5日後 (コシヒカリではただちに散布) 散布量：3kg/10a (湛水状態で散布)
- ※イモチエースキラップ粒剤を散布した場合は散布する必要ありません。
 - ※散布後15日以上経過しないと収穫できません。

粉剤によるカメムシ防除



- ※ビームスタークル粉剤5DL及びダントツ粉剤DLは、**散布後8日以上経過しないと収穫できません。**
- ※散布にあたっては強風の日を避け、飛散しないように注意してください。

裏面に続きます

薬剤の使用基準を守って安心なかほく米づくり

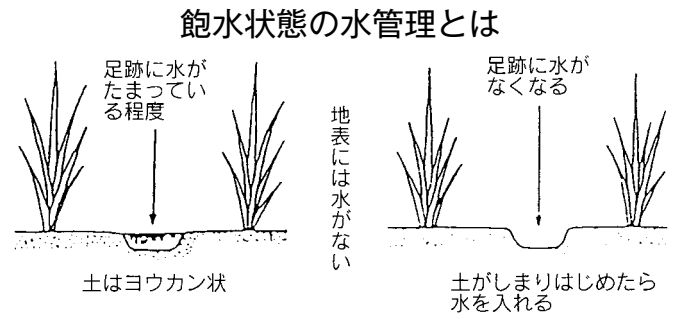
病害虫防除後に栽培履歴へ記入しよう!



8月は高温の気象予想が出ており、乳白粒・胴割粒の発生が懸念されます。

土壌の水分や、出穂期～出穂20日後の高温（日平均気温27℃以上）により、乳白粒・胴割粒が発生しやすくなります。

乳白粒・胴割粒発生防止 ～最後の決め手は水管理～



- 3～4日ごとの通水で根の活力を維持!!
＝常に田面が濡れている状態を維持
- 通水は夕方に行い、刈り取り前5日頃まで継続しましょう。
- フェーンには要注意：フェーンの予報がでたら通水、湛水して備えましょう。
- 日中の常時湛水は厳禁：根が傷んで乳白粒、胴割粒の発生を助長します。

斑点米カメムシ類の多発に注意!!

7月12日付で、斑点米カメムシ類の多発注意報第1号が発令されています。すでに出穂した本田への侵入が確認されています。出穂後の防除を徹底してください。

JA石川かほく米555共励会 今月のポイント

- 根の活力を維持するため、間断通水を継続し、乳白粒・胴割粒の発生を防止して、品質向上
- 基幹防除を確実に実施し、斑点米の発生を防止して、品質向上

高密度播種移植栽培現地研修会のご案内

稲作コストの削減効果が期待できる高密度播種移植栽培の現地研修会を開催致します。ぜひご参加ください。

1. 開催日時 平成30年8月8日(水) 午後2時～4時
2. 開催場所 かほく市気屋圃場、JA石川かほく農機センター
※集合場所：JA石川かほく西部育苗センター横駐車場（津幡町舟橋）
3. 研修内容 ①生育概況と今後の管理について（かほく市気屋圃場にて）
②高密度播種の育苗管理について（かほく市気屋圃場にて）
③田植機（高密度播種苗対応）の紹介（農機センターにて）

—— お問い合わせ先 JA石川かほく営農経済部 TEL 288-7555 ——

※イノシシの被害が見られた場合は、JAもしくは農業共済（239-2555）までご連絡下さい。
※ゆめみづほの刈取適期は8月10日(金)以降の新聞にて発表いたします（予定）。

◎営農に関するお問い合わせはJA（☎288-7555）、県央農林総合事務所（☎204-2101）におたずねください。

適切な水管理で元気な稲！

乳白・胴割れを防止しよう!!

出穂後の防除を徹底し、斑点米を追放しよう!!